

激戦が繰り広げられた小学生サッカー大会「第9回桜川市スミハツカップ」



3月7-8日
サッカー大会「第9回桜川市スミハツカップ」開催

桜井農村公園をメイン会場に、小学生サッカー大会「第9回桜川市スミハツカップ」が行われました。

本大会は、株式会社スミハツ（台山高森工業団地内）が地域貢献の一環として毎年開催しているもので、今年で通算21回目となりました。

当日は強風の中、市内4チームをはじめ近隣の市町から、総勢24チームが参加。予選リーグを1位突破した4チームが優勝を目指して決勝リーグを戦い、結果、激戦を制した中サッカースポーツ少年団が優勝しました。

全国大会出場を大塚市長（写真中央）に報告した羽黒バレーボール少年団（女子）の皆さん



3月27~30日
羽黒バレーボール少年団 全国大会でベスト16

福島県で開催された全国スポーツ少年団バレーボール交流大会に、羽黒バレーボール少年団（女子）が出場し、ベスト16に輝きました。

大会には、全国の都道府県代表47チームと開催地1チームを加えた48チームが参加。12月の茨城県大会を優勝し、県代表として出場した同チームは、全国大会で予選リーグで4勝。ベスト8を決める試合で惜しくも敗れました。

灌川奈津（なつ）キャプテンは、「今まで頑張ってきた仲間と全国大会のコートに立てたことが嬉しかったです」と話していました。

まちの話題

日本赤十字社茨城支部が

災害救援車両配備

3月30日

日本赤十字社茨城支部が、桜川市地区分区に災害救援車両を配備しました。

これは、災害救援活動や奉仕団などの一般赤十字活動に使用して、各地域の赤十字活動を推進するため、同支部が配備したものです。

今回、桜川市地区分区から配備希望申請を受けた同支部が、配備を決定。同車両は桜川市役所で管理し、火災などの災害が発生したときに、毛布やふとん、ブルーシートなどの救援物資を運ぶなど、様々な災害救援活動で活躍します。



日本赤十字社茨城支部が桜川市地区分区に配備した災害救援車両

社会福祉法人筑紫会
車いす対応福祉車両を導入

3月26日

社会福祉法人筑紫会（吉原毅理事長）が、公益財団法人日本財団の助成を受けて、車いす対応の福祉車両1台を導入しました。

同財団は毎年、福祉車両の購入を助成する事業を実施していて、今回、同会が助成申請し、助成が決定されました。

福祉車両は、後部から車いすに座ったまま乗車が可能で、移動困難な方の買い物や旅行などを支援できます。

吉原理事長は、「地域の皆様の移動支援として、少しでも役立てられるよう有効に活用していきたい」と話していました。



車いす対応福祉車両のお披露目式を行った社会福祉法人筑紫会（吉原毅理事長（写真右））